

【科学研究費補助金研究等への参画状況】

課 題 名	担当研究者	協力依頼期間 (研究事業期間)	概 要
<p>下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 木村 博一)</p> <p>【分担研究】 下痢症ウイルスのサーベイランスネットワークの構築 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊</p>	<p>平成 29～ 令和元年度</p>	<p>・下痢症ウイルスサーベイランスネットワークの構築</p>
<p>下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 木村 博一)</p> <p>【分担研究】 先駆的バイオインフォマティクス技術による下痢症ウイルスの感染症の分子疫学・流行予測法の開発に関する研究 (研究分担者 国立感染症研究所 木村 博一)</p>	<p>【協力研究】 山下育孝 豊嶋千俊</p>	<p>平成 29～ 令和元年度</p>	<p>・ノロウイルス, サポウイルス, ロタウイルスによるウイルス性下痢症が疑われる事例で地方衛生研究所に病原体検査依頼のあった採取済み臨床検体を対象にして下痢症ウイルスの次世代シーケンサー(NGS)解析に適する検体を選定し, 感染研へ送付 ・下痢症ウイルスの塩基配列情報の解析による流行予測</p>
<p>食品由来薬剤耐性菌のサーベイランスのための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 渡邊 治雄)</p> <p>【分担研究】 地研ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査 (分担研究者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 山下育孝 浅野由紀子 木村千鶴子 阿部祐樹</p>	<p>平成 30～ 令和 2 年度</p>	<p>・全国地方衛生研究所協議会ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ属菌, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査</p>
<p>薬剤耐性菌サーベイランスの強化及び薬剤耐性菌の総合的な対策推進に関する研究 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 柴山 恵吾)</p> <p>【分担研究】 地方衛生研究所における薬剤耐性菌の調査能力強化に必要な基盤となる技術の開発と普及 (分担研究者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 山下育孝 浅野由紀子 阿部祐樹</p>	<p>平成 30～ 令和 2 年度</p>	<p>・全国の地方衛生研究所における薬剤耐性菌の調査能力強化に必要な基盤となる技術の開発と普及</p>

<p>愛玩動物由来人獣共通感染症に対する検査及び情報共有体制の構築 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 山口大学 前田 健)</p> <p>【分担研究】 愛玩動物における SFTS ウイルスの検査体制と報告制度の整備の検討 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊</p>	<p>平成 30～ 令和 2 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物の遺伝子検査法, 抗体検査法の検査体制の検討. ・愛玩動物が SFTS を発症した際の飼い主, 獣医師等への検査対応のあり方の検討
<p>病原微生物検査体制の維持・強化に必要な地方衛生研究所における人材育成及び地域における精度管理に関する協力体制構築に向けた研究 (厚生労働科学研究: 代表者 愛知県衛生研究所 皆川 洋子)</p> <p>【分担研究】 地衛研全国協議会と国立感染研の間の連携協力に関する検討 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 山下育孝 豊嶋千俊</p>	<p>平成 30～ 令和元年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地衛研全国協議会と国立感染研の間の連携協力に関する検討 ・ウイルス・細菌の地方衛生研究所研修プログラムを開発, 検査担当者の人材育成についての検討
<p>食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 泉谷 秀昌)</p> <p>【分担研究】 中国・四国ブロックの菌株の解析及び精度管理 (研究分担者 岡山県環境保健センター 狩谷 英明)</p>	<p>【協力研究】 木村千鶴子 阿部祐樹</p>	<p>平成 30～ 令和 2 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腸管出血性大腸菌 O157 株の PFGE 法, IS-printing system 及び MLVA 法による精度管理, 発生事例の分子疫学的手法による解析, 県内で発生した腸管出血性大腸菌感染症事例の情報提供及び解析
<p>病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 黒田 誠)</p> <p>【分担研究】 地方衛生研究所における感染症危機管理ネットワークの構築 (分担研究者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 山下育孝 浅野由紀子 木村千鶴子 阿部祐樹 豊嶋千俊 山下まゆみ 岩城洋己 青木紀子 長谷綾子</p>	<p>令和元～ 令和 3 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国地方衛生研究所における遺伝子検査及び分子疫学解析等, 病原体ゲノム解析の現状を調査 ・研究協力者からのゲノム情報の収集と解析 ・病原体ゲノム情報の利活用がもたらす感染症危機管理体制強化へのメリットについて検討し, 取りまとめ全国地方衛生研究所を対象に広報

<p>一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 下島 昌幸)</p> <p>【分担研究】 一類感染症等の実験室診断の迅速化 (分担研究者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 山下育孝 豊嶋千俊 山下まゆみ 岩城洋己</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一類感染症全般とニパウイルス感染症の迅速な診断法の確立に向け、地方衛生研究所でも実施可能な方法について、研修や試薬の配布を通してその可能性を試行する。 ・地方衛生研究所で実施可能なウイルス性の一類感染症等の迅速診断法の試行及びBSL3実験室を有する地方衛生研究所での検査に必要な検体処理に関する講義や研修を実施する。
<p>急性弛緩性麻痺、急性脳炎・脳症等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 多屋 馨子)</p> <p>【分担研究】 地衛研における検査・病原体解析 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【分担研究】 四宮博人 山下育孝 豊嶋千俊 山下まゆみ 岩城洋己 青木紀子 長谷綾子</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方衛生研究所における急性脳炎・脳症・急性弛緩性脊髄炎(AFP)の病原体検索の現状を調査し、国内の状況を明らかにする。
<p>食中毒原因ウイルスの不活化および高感度検出法に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 鈴木 亮介)</p> <p>【分担研究】 食材、食中毒関連情報の収集、地方衛生研究所における検証 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮 博人)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 山下育孝 豊嶋千俊 山下まゆみ 岩城洋己</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスの汚染が疑われる食材や環境水の収集と提供 ・食中毒事例や関連情報の収集と情報提供 ・国立感染症研等で開発した新規検出系について、各地方衛生研究所の協力者による実用性の検証を行い、改良に必要な情報をフィードバックする。 ・食中毒関連ウイルスの情報を協力者に提供する。
<p>公衆浴場におけるレジオネラ症対策に資する検査・消毒方法等の衛生管理手法の開発のための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 前川 純子)</p> <p>【分担研究】 入浴施設の衛生管理ガイドラインの作成、集団発生調査ガイドラインの作成、NGSを利用した疫学調査 (研究分担者 岡山理科大学 黒木 俊朗)</p>	<p>【協力研究】 浅野由紀子</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者発生時の感染源調査に有効な遺伝子型別法であるMLVA法やSBT法の評価を行うとともに、レジオネラ検査のための次世代シーケンサ(NGS)を用いたゲノム解析とタイピング方法の検討を実施する。

<p>重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 西條 政幸)</p> <p>【分担研究】 SFTS 迅速診断法の開発 (研究分担者 国立感染症研究所 福士 秀悦)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊 山下まゆみ</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SFTS 疑い検体について LAMP 法を実施し、従来の SFTS 検査法及びリアルタイム PCR 法と比較することで、LAMP 法の有用性を検討する。 ・SFTS 検査診断における簡便で迅速にウイルス検出が可能な LAMP 法の確立及び実用化に向けた研究を実施する。
<p>我が国の感染症対策のセンター機能の強化に向けた具体的方策についての研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 倉根 一郎)</p> <p>【分担研究】 我が国の感染症対策のセンター機能の強化に向けた具体的方策についての研究 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方衛生研究所における検査の現状及び課題を把握し、今後強化する事項を感染症対策の各事項(①高度な管理が求められる病原体等の検査・診断体制, ②薬剤耐性, ③地方衛生研究所と国立感染症研究所の連携による研究基盤)についてソフト面及びハード面の両面から検証し、地方衛生研究所が取り組むべき整備・強化の具体案を提示する。
<p>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 清水 博之)</p> <p>【分担研究】 エンテロウイルスサーベイランスにおける検査法の確立と実態解明 (研究開発分担者 群馬県立衛生環境研究所 猿木 信裕)</p>	<p>【協力研究】 四宮博人</p>	<p>令和元～ 令和3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国 10 カ所程度の地方衛生研究所の協力を得て、検査法及び検査体制の整備・確立を行う。 ・各地方衛生研究所で検出されたエンテロウイルス D68 等のエンテロウイルス流行状況をもとに、疾病との関連について解析し、エンテロウイルスと急性弛緩性麻痺及び髄膜炎との関連性を明らかにする。
<p>微小甲虫と呼ばれるヒラタムシ上科(コウチュウ目)の分布調査 (利尻島調査研究事業: 代表者 愛媛県立衛生環境研究所 久松定智)</p>	<p>久松定智</p>	<p>令和元年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利尻島から記録の少ないヒラタムシ上科(コウチュウ目)の昆虫相について、利尻山を含む利尻島全体で現地調査を行った。